

令和元年6月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和元年6月28日(金)午後2時00分開会 午後3時30分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1	開会	
日程第2	前回会議録の報告、承認	
日程第3	会議録署名委員指名	
日程第4	会期の決定	
日程第5	教育長の報告	
日程第6	議事	議案第22号から議案23号
日程第7	報告事項	報告第15号から報告第16号
日程第8	その他	

○会議に出席した委員(5名)

1番	鹿嶽昌功	2番	吉田礼子
3番	中上之仁	4番	田口文夫
5番	三木尚美		

○説明のため出席した者(6名)

学校教育部長	岡崎正文	学校教育部次長	外岡明文
教育研修所長	村岡智行	学校給食課長	宮城信之
教育総務課参事	上野 樹	学校教育課参事	吉田裕彦

○代表学校長(2名)

中学校校長会代表	薩摩高志
小学校校長会代表	福井加寿子

○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課	松田成行
	寺 嵐 晶 子
	藤 本 真

○会議録署名委員

教育長	鹿嶽昌功
教育委員	中上之仁

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和元年6月第237回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

(令和元年5月30日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。

なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。

会議録署名委員は、3番 中上之仁委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和元年6月28日金曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

今年の梅雨は、関東以北は早々と梅雨入りしたわけですが、関西は一昨日ようやく梅雨入ということで、例年に比べ非常に遅くなりました。昨年は7月に西日本豪雨による大きな被害をもたらした災害が発生しました。

また、今月18日には新潟・山形で大きな地震もありました。令和になっても災害が続くのかとも思いましたが、新たな時代、できる限り自然災害がないようお願いいたします。

また今年は、数々の交通事故、登下校の安全対策といったことが大きな課

題となっています。また、大阪では警官への襲撃事件、神奈川県厚木市では受刑者の逃走事件により、学校の臨時休校といったことにも広がりました。

自然災害に加え、交通安全、防犯といったことも含めて危機管理体制の充実に努めなければならないと思っています。

それでは、前回の定例会以降の状況についてご報告いたします。

1 令和元年第1回兵庫県都市教育長協議会（5/31）

5月31日、たつの市で本年度の第1回兵庫県都市教育長協議会が開催されました。昨年の事業報告・決算とともに、本年度の事業計画・予算の承認ののち、議事として2点協議いたしました。

1点目は、新学習指導要領でも示されているプログラミング教育の取り組みについてです。各市ともハード的には、一部かなり力を入れているところもありますが、1校につき1クラス分40台のパソコンが整備されているところが多いです。なかなか国が示すような3人に1台のタブレットパソコン整備とまではいっていません。一方で、ソフト的な対応や教員の研修等には積極的に取り組まれているといったところです。

2点目は、小中学校の地域校における医療的ケアの対応についてです。まず県下29市中医療的ケアを実施していない都市が12市あり、三田市よりも大きな都市においても実施されていないところもありました。また、実施都市においても、看護師の確保は難しく派遣対応といったことで、三田市のように学校配置しているところは半数程度といったところです。ただ、各市とも今後医療的ケアの要請には、当然として対応しなければならないとの認識で一致しています。

2 三田市国際交流協会設立30周年記念式典（6/2）

6月2日、まちづくり協働センターで開催された、三田市国際交流協会設立30周年記念式典に参加いたしました。

昭和63年、三田市がオーストラリアブルーマウンテンズ市と姉妹都市提携をおこなったことを契機に、翌年平成元年に三田市国際交流協会が設立され、今年で30年、数々の民間レベルの国際交流・国際理解の活動を展開されてきました。

本年、教育委員であった中島会長がお亡くなり、大変残念ではありましたが、新たな会長のもと、今後も三田で暮らされる多くの外国人市民の皆さんへの支援とともに、国際交流の輪を広げていただきたいと思います。

3 令和元年6月三田市議会定例会開会（6/4）

6月4日に令和元年6月三田市議会定例会が開会し、6月25日までの日程で、条例案・補正予算案等の議案の審議とともに、一般質問がありまし

た。教育委員会からは、30年度からの繰り越し予算と重複計上しておりました、けやき台中学校の大規模改修予算の減額、寄付金歳入に伴う学校図書費の増額の補正予算案を提案いたしました。

また一般質問では、長坂・藍中学校の再編計画取り下げについてや、環境教育、学校配当予算、小学校特別教室への空調設置、不登校児童生徒対策と子どもの居場所といった質問がありました。

詳細についてはこの後報告させていただきます。

なお、議案については最終日25日にすべて議決いただきました。

4 第69回社会を明るくする運動三田市推進委員会（6/5）

6月5日、総合福祉保健センターで、第69回の社会を明るくする運動三田市推進委員会が開催され、出席いたしました。

三田市保護司会のみなさんを中心に、市内の関係機関の参加による委員会です。犯罪や非行を防止し、立ち直りを地域で支えて行こうとするもので、教育委員会、小中学校の校長会、PTA連合会も委員として参加しています。街頭啓発やケース研究会への参加、小中学校児童生徒の作文コンテストなど、教育委員会また小中学校も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

5 教育委員会点検・評価委員会（6/6）

6月6日、平成30年度の教育委員会及び教育施策の取り組みに対する「点検・評価委員会」を開催し、外部評価委員の3名の皆さんに点検評価をお願いいたしました。

今年は、第2期教育振興基本計画の中間年に当たる年であり、過去2年間の取り組みの評価を受けて、後半2年間の施策展開につなげたいと思っています。

評価委員の皆さんには、お忙しい中、数多くの事務事業を評価いただくこととなります。評価いただいた意見を集約し、それを基に7月18日の第2回目の委員会で評価のまとめをしていただく予定としています。

評価結果については、この定例教育委員会でご報告・説明させていただいてから、法に基づいて市議会に報告し、市民の皆さんに公表してまいります。

6 令和元年度阪神地区PTA連絡協議会総会（6/8）

6月8日に、阪神地区PTA連絡協議会総会が三田市で開催されました。本年度の阪神地区の会長は三田市のPTA連合会が担当するという事です。

また、本年度は兵庫県で日本PTA全国研究大会が8月23日・24日に開催され、23日の分科会では、阪神地区の担当として伊丹市で「家庭教育」をテーマとして開催されます。

P T A役員をはじめ会員の皆さんには、大変であり、ご苦勞であると思いますが、大会の成功を願っているところです。

7 三田市公立高等学校合同説明会（6/18）

6月18日の夕方から、郷の音ホールで、来春の高等学校受験に向けた市内高等学校の合同説明会を開催いたしました。

夕方の時間帯でしたが、保護者のみなさんを中心に市内外から約500人の皆さんに参加いただきました。

市内にある5つの公立高校、有馬高等学校の全日制高校と定時制高校、北摂三田高等学校、三田西陵高等学校、三田祥雲館高等学校の先生にお越しいただき、それぞれから学校の特徴や魅力などを説明いただきました。進路選択の参考となったのではないかと思います。

各中学校においては、中高連絡会や進路指導担当者会などを通して、様々な情報を得る中で、子どもたちが希望する高校に全員進めるよう、一人一人に寄り添った、丁寧な進路指導を行っていきたいと思っております。

8 富士小学校創立30周年記念式典（6/20）

6月20日、富士小学校創立30周年記念式典及び鑑賞会に参加しました。富士小学校は、平成2年にフラワータウンで3校目の小学校として開校しました。開校当時約400人の児童で、ピーク時は700人弱でしたが、現在は400人弱と、それほど大きな児童数の変動がなかった小学校です。

平成19年度から特別支援学級センター校として、27年度からは「ひまわり特別支援学校」を併設する学校として、共生の心を育む教育の推進に取り組んでこられました。

式典では、今まで無かった校章旗をP T Aより寄贈いただきました。

二部の記念鑑賞会では、「ウインドカンパニー金管合奏団」のプロの皆さんによる演奏を子どもたちとともに聞かせていただきました。

これからも、富士小学校の新しい歴史を刻んでいってほしいと思っております。

9 三田国際マスタースマラソン実行委員会（6/24）

6月24日、本年度で第31回目となる三田国際マスタースマラソンの実行委員会に、副委員長ということで参加いたしました。

今年は12月15日の日曜日、例年通り県立有馬高等学校のグラウンドで開催されます。

昨年から実施された、だれでも気軽に参加できる2kmの「ファンラン」も、定員を拡大して開催されます。その他、参加の多い高齢ランナーへの対応として70歳以上男子の部を新設、また、要望の多かったゼッケンの事前郵送配布を行うなど、より参加しやすい取り組みも予定されています。多くの皆さんに師走の三田を走っていただきたいと思っております。

私からは以上です。

日程第 6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 附属機関の委員その他の法令に基づく各種委員を委嘱し、又は任命することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第 1 条第 1 4 号】

議案第 2 2 号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

○学校給食課長
(宮城 信之)

議案第 2 2 号「三田市学校給食運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問などはありませんか。
なければ、このように承認します。

引き続きまして、本日の追加議案に移ります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

(1) 学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めることにつて

【三田市教育委員会事務委任規則第 1 条第 1 号】

議案第 2 3 号「三田市立学校再編計画（第 1 次計画）に係る今後の取り組み方針について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

議案第 2 3 号「三田市立学校再編計画（第 1 次計画）に係る今後の取り組み方針について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

昨年 1 2 月総合教育会議の前に定例会で三田市立学校再編計画の議案を上程しました。先月協議会でもご報告しましたが、上野台・八景中学校については、計画通り進めて参りますが、藍・長坂中学校の学校再編については、取り下げる事を 6 月 6 日の市議会福祉教育常任委員会で報告いたしました。昨年 1 2 月の教育委員会定例会で

中学再編第1次計画を議決いただいたわけですが、今日取り下げを行うにあたって、その議決が必要である事から、提案させていただきました。藍・長坂中学校区については、行政案のたたき台ありきの協議ではなく、白紙に戻し、改めて、様々な方向性を議論して進めていくこととなります。本日の定例市議会の報告にもありますが、かなり厳しい意見をいただきました。藍・長坂中学校区で、個々に協議を進めず議論をする前に断念し、取り下げるのはおかしいのではないかとこの意見をいただきました。ただこのまま、再編計画を推し進めていくと藍中校区と長坂中校区の隔たりが大きくなるばかりですので、白紙に戻して両校区で、再度協議していただくこととしたいと思います。取り下げる議決をいただきまして、藍・長坂中学校区に報告し、議論のテーブルについていただくように進めていきたいと思います。市議会にもご報告しましたし、方針転換についてご理解いただきたいと思います。何かご質問などはございませんか。

○教育委員
(田口 文夫)

平成30年3月の三田市立学校園あり方審議会の小中学校のあり方についての答申を受けて、平成30年5月から6月にかけて三田市立学校のあり方に関する基本方針にパブリックコメントを求めながら、教育委員会の基本方針・計画を出していると思うのですが、あり方審議会を再度開く必要はないのですか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

市議会でも、「取り下げる・白紙にするという事は学校再編はしないという事ですか。」という質問をうけたのですが、違います。三田市立学校のあり方に関する基本方針というのは、あり方審議会を開き、正規の手続きのもとで定めた基本方針ですので、方針は何も変わっていません。基本方針に基づいて、藍・長坂両校区で、望ましい学校環境のあり方を検討していくという事です。基本方針自体は変わるものではありません。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

基本方針では、望ましい学校規模は決めています、どの学校とどの学校とが統合するという具体的案は示していません。統合する学校は行政案として決めた事ですので、基本方針自体は、変わらないという事です。

○教育委員

あり方審議会の答申、教育委員会の基本方針は、変わらないと言う

(田口 文夫)

事でいいですね。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

その通りです。望ましい学校規模は、9クラス～18クラス、通学時間は1時間以内に収まるところに学校があるのが望ましいということは、基本方針に盛り込んであります。

○教育委員
(吉田 礼子)

そうになると、白紙に戻しても、藍と長坂中学校が統合する事は、否定できないのではないですか。藍と長坂の統合が進んでいくそれに加えてどこかの学校と統合するという選択肢しかないのではないですか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

私も、市議会で答弁しましたが、白紙に戻し、再度検討します。地域の話し合いの中で、藍中に統合しますという案でまとまれば藍中になりますし、位置的にはどう考えても長坂中が良いとなれば、長坂中でまとまる事になります。また、今の既設校を利用せずに上野台・八景中学校の様に、新設校をつくる事でまとまるかもしれません。または、枠を越えて他の中学校区とも協議しながらつくるという事もあります。あり方審議会の基本方針では、どの学校が統合するという具体案は示していないので、校区が広がるという事もあります。

○教育委員
(吉田 礼子)

白紙に戻しても、主な反対理由が解消されることはないのではないかと思います。とても残念なのは、再開発があるのに、そこに市が人口増の政策を打ち出していないことです。教育委員会だけがどうするかを考えなければならない。今回の事態を含めて総合教育会議の役割とは何だったのかということ非常に考えさせられました。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

今回の藍中校区・長坂中校区で協議していくなかで、まちづくりの視点もふまえ、協議するべきだと思います。事務局としても教育委員会だけでなく、市長部局と連携しながら、対応していく事になると思います。

○教育委員
(吉田 礼子)

学校規模について、市教委案の藍・長坂中学の再編案が通ったとしても、その数年先には、また小規模校になる問題が見込まれている

ので、その対策をまちづくりの中で考えないことには、市教委の提案も生きてこないわけです。そのような事を考えたら、人口を増やす事を考えてもらえないのかと思います。JR福知山線も新三田発ではなく、広い土地がある地域の藍本発を新たに作るなどすれば、新三田より上手の利便性が良くなり状況はガラッと変わってくると思います。

○教育委員
(田口 文夫)

吉田委員がおっしゃるように、総合教育会議で議論し結論がでていくわけで、その撤回はどうなるのかと思います。藍・長坂中学校の再編案を撤回するにあたって、教育委員会定例会、市議会で承認が必要という事は、総合教育会議での撤回の承認が必要ではないでしょうか。そうでなければ、総合教育会議は、何だったのかという事になる。この文章の中で、藍・長坂中学をこのままの現状を放置しておく事は、生徒の周りの環境に大きな課題があるとなっている。これは、あり方審議会の方針通りです。市教委案として、藍・長坂中学の再編案を出しているの、後は、市が開発・まちづくりの方向性を打ち出してもらわないといけない。広い校区にするのか、ただ通学時間は1時間以内との答申となっているので、それを考えると、人口を増やす事です。今後は、両校区内の保護者と協議していくとある。そうすると市教委の判断は要らない事になる。後は、都市開発・地域の問題です。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

総合教育会議で、協議をして方向性を出し、改めて教育委員会定例会で決定いたしました。計画書は、三田市教育委員会の計画であります。総合教育会議では、市長と歩調を合わせて課題を共通認識し、最終決定については、教育委員会の権限で決定したものであります。ご意見の通り、学校が小規模化してきて課題がある事は共通認識しております。ただし、全国的な少子化という流れがある中で、学校規模が小さくなったから、まちづくりの中で、小中学校を維持するために、どう施策をつくるのかという事は慎重に考えていただきたいと思います。確かに、学校・まちの中に児童・生徒を増やす努力はまちづくりの中の一つとして必要ですが、その為だけに、大きな投資をしてまちづくりするという事は、行政としては難しいものがあります。これからどのような方法がとれるのかは、まちづくりの政策と、学校のあり方を連携しながら決めていく必要があります。その辺をご理解いただけたらと思います。

○教育委員
(田口 文夫)

外岡次長のおっしゃった事は理解出来ますが、総合教育会議で数時間かけて議論をし、市長も司会として、ある程度の方向性を打ち出された中で、市長は撤回に関係していなくて、教育委員会が撤回をするという事でしょうか。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

それについては、まちづくりに影響が大きいですから、市長とも議論をして、教育委員会が決定事項を撤回する事になります。改めて公の場で決定したかという、市長と協議したなかで、教育委員会として判断するという事となります。

○教育委員
(田口 文夫)

平成30年12月の総合教育会議では、学校の再編に係る体制を作ると決定しました。教育改革会議という名称は再考するとのことでしたが、連携した連絡会と地域協議会をおくということになりましたが、進捗状況はどうか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

上野台・八景中学校では、それをやらなければなりません。藍・長坂中学校は白紙の状態からですので、たたき台をだすのではなく、藍・長坂中学校区の皆さんと一緒に一から作っていく事になります。ただ、地域への説明については、地域の皆様にお任せするのではなく、私たちが地域の皆様に説明をしなければならぬと思います。案を練って行くのは、一からとなります。

○教育委員
(田口 文夫)

案については、最終的に教育委員会に戻ってきて決定するのですね。方針は打ち出しているの上野台・八景中学校については、従来通り進めていく、二通りの方法でいくという事ですね。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

上野台・八景中学校の地域協議会で、協議の結果、再編しないという可能性もあります。

○教育委員
(田口 文夫)

それは、当然あり得ますね。流れはわかってきました。総合教育会議でも発言しましたが、何処まで情報公開していくのでしょうか。上野台・八景中学校については、常に公開していきますよね。藍・長坂中学については、非公開となるのでしょうか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

藍・長坂中学についても、地域の皆様が入っての協議になるので、公開していきます。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

地域の各団体対象の小規模な説明会については、非公開となります。中学校区ごとに開くような、全体の説明会は公開となります。

○教育委員
(田口 文夫)

二通りの方法を時系列が違う中で学校再編を進めていく事は、大変な事になると思いますが、勉強させていただきます。

○教育委員
(中上 之仁)

藍地区については、保護者の皆様が長坂中学校に通っていたからか、反対という声はあまり聞きません。藍地区のまちづくり推進協議会の会長は、再編反対のある地区を含む藍地区全体の会長さんなので、どう進めていくのかと心配していると思います。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

まちづくり協議会は、小学校区ごとですので、藍小学校とつつじが丘小学校とは、分かれています。連合区長会は、藍地区全体で一つで、藍地区区長会長は、藍小学校区の方です。

○教育委員
(中上 之仁)

どう進めていくのか。教育委員会に対して、しっかりして欲しいという意見があります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

藍地区でも、保護者の皆さん全員が、長坂中学校に賛成ではないと思います。実際に藍中学校を無くさずに藍中学校に通える方が良いと考えている保護者の方もいらっしゃると思います。ただ、小規模化する学校環境はあまりよくないとの認識も持っていらっしゃいます。現在の藍中学校の現状は、まだ単一学級になっていないという事情もあり、緊迫感がないという雰囲気があるのではないかと思います。いずれにしてもこのままの状況ではいけないので、出来るだけ早く話し合いを始めたいと考えています。教育委員会としては、基本方針に沿って、藍・長坂中学について現状のままではない新たな学びの環境をつくるという事で、地域の皆様に説明をしていきたいと思っています。

○教育委員
(吉田 礼子)

やっぱり釈然としないのは、この前の総合教育会議で発言した後、藍地区は、市街化調整区域であるため、宅地開発等の人口増加は困難であると言われていています。私が諦められないのは、人口が減っても駅前地域は人気があり、三田駅前のマンションは直ぐに売り切れましたよね。新三田より上手の駅の駅前にマンションを建てれば、人口は増えると思います。大阪に通勤するには、非常に便利だと思います。人口を増やすまちづくりを考えていただけないかと思います。明石市も色々な政策を打ち出して、人口が増加しています。三田市では、ニュータウンは、空き家が増えてきています。まちづくりを考えずに、教育委員会だけで、学校再編を進めていくのは、限界だと思います。距離の制約がある、この学校は存続させるがこちらはなくす、教育上の不利益を被っている学校がある、地域の活性化が失われる。賛否両論で色々な矛盾があるので、解決の糸口を見つけるには、市がまちづくりの政策の中で、学校再編を考えていかなければならない。できませんと始めから切り捨てるのではなく、一緒に考えていく事は、出来ないのでしょうか。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

住居を建てるのではなく、つつじが丘地区では、空き家対策をしていまして、そこに住んでもらえるようになるだけでも随分と違うと思います。

○教育委員
(吉田 礼子)

そうですね。それも大切で大いに進めてもらいたいと思います。ただ、子育て世帯の方達は駅の近くに住みたい方が多いのではないのでしょうか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

三田市では、駅のまちづくりとして、相野駅周辺の開発をします。駅裏は区画整理をしますので、住宅が建つ予定です。ただ規模は、フラワータウンやつつじが丘地区レベルではありません。駅前周辺の区画整理ですので、一定のまちづくりとなります。また、広野駅でも駅周辺のまちづくりについて、これまでも検討されてきています。人口を増やす事は出来なくても、人口減少を止める事は出来るのではないかと思います。相野・広野地区については、より地域で暮らしやすいまちづくりが進められていくと考えています。また、三田のまちづくりは、以前は住宅開発中心のまちづくりでしたが、現在は市長自身も生活・産業都市をめざしています。三田で職を得られるまちづくりという事で、第2テクノパークでの企業誘致も進

めてきました。また、三田での起業の支援など、三田で職を求め、生活していけることが重要です。それが、子ども達の為の学校規模を維持する政策に繋がるかと言えば、それはわかりません。ただ、そういった三田市のまちづくりとともに、学校再編についても考えていかなければならないと思います。

この話はこれからも継続して審議していく事になると思います。

他にご質問などございませんか。

なければこのように承認します。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。

報告第15号「第346回定例会市議会(6月定例会)一般質問について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

報告第15号「第346回定例会市議会(6月定例会)一般質問について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第16号「7月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

報告第16号「7月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

日程第8 そ の 他 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、7月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

7月教育委員会定例会の開催日時は令和元年7月25日(木)午前10時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくをお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
中学校代表より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(薩摩 高志)

○学校訪問について
最初に、中学校の学校訪問大変お世話になりました。各校とも「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業づくり」をテーマに創意工夫された授業が展開され、指導助言をいただいたことを今後につなげ、活かしていくことなどを確認しました。

○三田市総体について
8中学校が期末考査を終え、中学3年生にとっては最後の三田市総体が29日(土)、30日(日)に行われます。陸上競技の市総体は22日(土)にすでに終わっています。上位成績のチームや個人は7月13日(土)、14日(日)に行われる丹有大会に出場します。三田市の中学生は毎年、県大会、近畿大会、全国大会に駒を進める優秀な生徒がたくさんいます。今年も期待できる種目があり楽しみです。

○一学期のまとめについて
あと夏休みまで1か月をきり、各校とも生徒の成績処理や個人懇談準備など、教職員の事務仕事がピークとなります。情報管理の徹底や適正な勤務時間を意識しながら、学期末を迎えたいと思います。また、熱中症対策、天候への対応をはじめ、生徒たちの体調管理や登下校を含めた不審者への対策徹底など、安心・安全な学校生活の維持を重要視し、地域、保護者の協力をいただきながら1学期のまとめをしていきたいと考えています。

○小学校校長代表
(福井 加寿子)

○学校訪問について
5月からの学校訪問について、教育委員の皆様、事務局の皆様には、子どもたちの様子や学習環境、施設の状況など、時間をかけて

見ていただきありがとうございました。ご意見やご指導を今後の学校運営や子どもの指導に反映させていきたいと思っております。

○児童の安全について

このところ通学路の安全を脅かす事件が各地で相次ぎました。通学路に車が飛び込む事案は後を絶たず発生し、各校でも地域で見守りをいただいている方々にも協力を願い、再度、通学路の安全点検をしています。

また、16日に吹田市で警察官が襲われ、銃を奪い逃走する事件がありました。児童の登校前に犯人が確保され、胸をなで下ろしましたが、日曜日の発生だったため、各校では週明けの登校時の安全確保の体制をとるため、教職員の連絡網やメール配信などで対応しました。

14日には川西市立中学校に、刃物を持った男が侵入するという事件も発生しています。これについても、不審者侵入時の対応マニュアルの確認などを行いました。近隣の市町でも事件が相次いでおり、私たち校長は、いつでも、どこでも起こりうる事件や事故であるという認識を一層強めました。台風などの災害の時期にも入りました。今後も危機感を持って、職員の非常態勢の取り方の確認など、速やかな対応ができるよう準備しておきたいと思っております。

一方、これに関連して、夏季休業中の子どもの安全確保についても、従来の生活指導だけでは十分とは言えない社会情勢になってきています。今まで当然のように行っていたプール開放や、ラジオ体操も、防犯上の懸念や、熱中症の心配などから、中止したり短縮したりする学校や地区が多くなっています。地域や保護者の方たちとの連携を一層強めて、子どもたちの見守りを強めていく必要をひしひしと感じています。

○三田市小学校連合体育大会について

本年度、小学校長会では、連合体育大会について検証委員会を立ち上げ、見直しを行っています。その途中経過について報告させていただきます。

今年で66回を迎える歴史ある連合体育大会ですが、近年、その実施に多くの問題点が出てきています。主な問題点として、一つ目は、会の運営にあたる役員数です。当日、児童を引率する担任の他に、各校体育担当+2名の運営役員を出しています。この動員数は、小規模校では、他の学年の授業に影響を及ぼすほどになっており、自然学校などの行事と重なった場合など、学校があまりにも手薄になってしまうという声が出ています。また、二つ目の大きな問題点として、当日までの練習についてです。児童数、学級数の減少

に伴い、一人の担任が複数の種目の練習を、安全に十分指導できないという現状が各校で起こっています。朝や放課後に、他の学年の応援を頼んで練習するという学校が多く、教育課程上の体育の授業数との兼ね合いや、教員の業務改善の点でも大きな課題となっています。

そこで本年度、プログラムを大きく変更して運営し、検証することになり、その新プログラムが決定しました。主な変更点は、走り幅跳びとハードル走を廃止。4×100mリレーを4×80mに変更、1000m走を800mに、100m走を60m走にそれぞれ変更しました。これによって、役員数を約3分の1に減らし、種目を減らしたことで、事前の指導に手が回らないということが、いくらかでも解消できないかと考えました。また、体育の新指導要領の内容にも合致させることができました。

本年度、このように検証大会として従来の大会から大きく変更した実施に向けてスタートしましたが、今年の6年生にとっては、一生に一度の連合体育大会です。やはり安全には十分配慮し、子どもたちの記憶にのこる大会にすることを、決して忘れてはならないと肝に銘じて今後進めていくつもりです

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
その他何かございませんか。

○学校給食課長
(宮城 信之)

令和元年度“食べチャオさんだ！”食育推進事業
「給食センター探検隊」「給食試食と給食センターミニ探検」及び
「給食試食親子体験」の実施について説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

その他何かございませんか。
それでは、以上をもちまして本日の教育委員会定例会を閉会いたします。